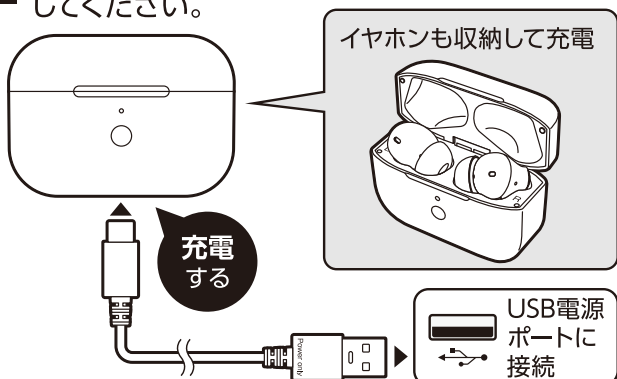


簡単

ペアリング接続ガイド

ご購入後初めて、Bluetoothフルワイヤレスイヤホンをご使用する際にはスマートフォンとのペアリング接続操作が必要です

- 1** はじめに**充電クレードル**と**イヤホン**を**充電**してください。



- 2** スマートフォンの**Bluetooth設定**を**ON**にしてください。



- 3** 充電クレードルのフタを開き、**左側イヤホン**、**右側イヤホン**を取り出してください。自動的に**イヤホンの電源がON**になり、左右イヤホン同士が接続します。



- 4** 左右イヤホン同士が接続されると**親機側イヤホン**のLEDが**早い白点滅**になり、**子機側イヤホン**は約2秒間隔で**白点滅**します。



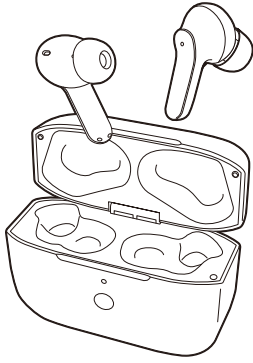
- 5** スマートフォンを操作して**「SOUND LIBERTA PRO」**を選択してください。



- 6** スマートフォンと接続されると左右イヤホンのLEDが**約5秒に1回白点滅**します。



※さらに詳しいご使用方法に関しては、別紙の取扱説明書をご確認ください。



アクティブノイズキャンセリング
SOUND LIBERTA PRO

安全上のご注意

本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。また、ご使用になる接続機器の取扱説明書の「Bluetooth」に関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

被害事象：異常発熱・火災・感電・事故・誤飲・破裂・けが・やけどなど。

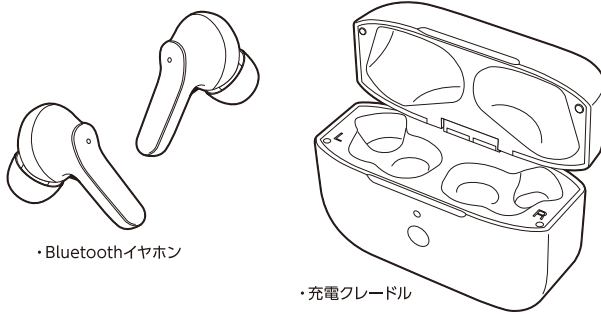
- 医療機器の正常動作を損なう恐れがあるため、心臓ペースメーカーなど、電子機器を装着した人、および他の電子機器へマグネットを近づけない。
- 車の運転中は操作しない。
- 分解・改造をしない。
- 湯水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させない。
- 水没させない。濡れた状態で充電しない。
- 製品に金属などを差し込まない、接続端子を金属などでショートさせない。
- 無線機器の取扱いに関して指示がある区域などでは、その指示に従う。
- 指定の電圧以外の電源で使用しない。
- 使用前に各接続部を確認し、ホコリなどの付着や接続部の変形・破損したものは使用しない。
- 睡眠中は使用しない。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具などのそばや、湿度の高い場所で充電・使用・保管しない。
- 乳幼児・子供の手の届く場所で充電・使用・保管しない。
- 使用しない場合、全ての接続箇所をはずし、安全な場所に保管する。接続したまま放置しない。
- 当社製以外のケーブルを接続しない。
- 充電器やパソコンなどの出力端子同士を接続しない。
- 使用時に接続部を確認してまっすぐ接続し、無理な力を加えて接続しない。
- 火中に投入しない。電子レンジ、オーブンなどで加熱しない。
- 雷がなりはじめたら、安全のため本製品や接続されている各機器にさわらない。
- 重い物や物を載せたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かない。
- お手入れの際は、各接続部を取りはずす。
- 投げたり、衝撃を与えない。
- 大きな音量で長時間続けて聴かない。

注意 人が軽傷および物的損害を負う可能性が想定される内容。

被害事象：出力せず・反応せず・断線・腐食・破損・故障・けがなど。

- 接続端子電極部に水分が付着させたり、結露した状態で使用しない。
- 充電対象機器を充電中に、本製品や充電対象機器が極端に熱くなったり異常を感じた場合は使用しない。
- 5℃から35℃の屋内環境で使用。それ以外の環境では使用しない。
- 0℃から40℃の風通しの良い屋内環境で保管する。
- マグネット部をアナログ時計、磁気記録媒体(磁気カード、磁気テープ、プリペイドカードなど)、メモリーなどの記録媒体に近づけない。
- コネクタをはずす際は、コネクタ本体を持っておこなう。ケーブルを持って強く引っ張らない。
- 内蔵電池が液漏れした場合、素手でさわらない。失明の恐れがあるので、液を目に触れないようにする。万一、液が目に入った場合は水道水で十分洗い、医師の治療を受ける。液が服についても水道水などで十分洗い流す。皮膚に異常が有る場合、医師に相談する。
- 歩行中は、周囲に十分注意する。
- 本機を接続する前に、接続する機器の音量を下げしておく。
- 本機を使用中に不快感など異常を感じた場合は使用を中止する。
- 本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない。

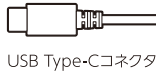
梱包内容



・Bluetoothイヤホン

・充電クレードル

・充電用USBケーブル(長さ:約30cm)

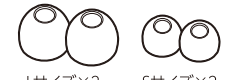


USB Type-Cコネクタ



USB-Aコネクタ

・イヤークッション



Lサイズ×2

Sサイズ×2

(Mサイズはイヤホンに装着済み)

- 取扱説明書(本書)
- 単ペアリング接続ガイド
- 片耳イヤホン紛失補償サービス券

使用上のご注意

! アクティブノイズキャンセリング機能は周囲の雑音を軽減するものであり、完全に消すことはできません。

- 本製品は、運転中や周囲の音が聞こえないと危険な状況では、事故の原因となりますので、ご使用にならないでください。
- 本製品をご使用になる時は音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で聴くと聴力に悪い影響を与える原因となります。
- 細菌による感染予防のため、耳に直接触れる部分は常に清潔に保ち、長時間連続しての使用はお避けください。
- イヤークッションを装着する際はサイズを確認して取り付けてください。万一、イヤークッションがはずれて耳に残った場合、無理に取り出さないで医師の治療を受けてください。
- ご使用になるアプリケーションや接続機器によっては本製品の各機能に対応していない場合や、対応しているも相性により動作が不安定な場合があります。※アプリケーションごとの動作検証はおこなっておりません。
- 接続機器のOSバージョンアップなどにより、接続不具合が生じる場合がありますが、接続機器側のOSに依存するため、本製品側では対応できない場合があります。
- 本製品のタッチセンサー部は人体以外に金属にも反応するため、誤動作の原因となりますので、イヤホンのタッチセンサー部を金属に触れさせないようにご注意ください。
- タッチセンサー部の誤動作を防ぐために持ち運びの際は、イヤホンを充電クレードルに収納してください。
- 本製品を耳に装着し通話や音楽再生中、接続機器をポケットやバッグの中に入れてますと電波が遮蔽され、音が途切れる場合があります。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運び際は強い力が加わらないようにご注意ください。本製品の破損、故障の原因となります。
- 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
- 充電クレードルの充電には、必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。
- 充電端子に触れたり、クリップなどの金属を接触させないでください。感電やショートによる破損やケガの原因となります。
- 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
- 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
- 内蔵電池が完全に放電していると、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかかる場合があります。
- 内蔵電池の残量が少ない状態で使用すると、内蔵電池の性能を低下させる要因となる場合があります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
- 内蔵電池は自然放電するため、保管の際は約1ヶ月に1回は必ず充電してください。またご使用前には、充電してからご使用ください。
- 本製品は完全防水ではありません。(防水性能等級 IPX4準拠)
- ご使用の際にはイヤホンおよび、充電クレードルの紛失には充分ご注意ください。当社では、単品の販売はおこなっていません。
- 本製品が汚れた場合、乾いた布でふきとってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどでふかないでください。本製品を傷める原因となります。
- 充電クレードルのイヤホン収納部にホコリなど異物が入らないようにご注意ください。充電接触不良の原因となります。
- 充電端子部は、充電接触不良防止のため汚れた場合は乾いた布や綿棒などで汚れをふきとり、充電端子部を清潔に保ちご使用ください。
- 本製品は内蔵電池、金属部品、プラスチックなどでできております。燃やすと危険ですので、廃棄する時は各自自治体の指示に従った方法で、正しく廃棄してください。

防水性能について

本製品は防滴仕様(防水性能等級:IPX4準拠)となっておりますが、多量の水濡れや水没など、取り扱いの仕方によっては故障の原因となります。下記の注意をお読みになり正しくお使いください。

- 本製品は完全防水仕様ではありません。本体を水洗いする、シャワーにあてる、水に沈めるなどの行為は、故障の原因となるのでおこなわないでください。お客様が誤った使用が原因の水濡れによる故障の場合は保証外となります。
- 湯水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させないでください。

ご注意

- ・イヤホンに水が付着すると、音がこもったり聞こえにくくなる場合があります。付着した水気は、柔らかい布などで拭き取り、乾燥させてからご使用ください。
- ・使用後は、乾いた布で水分を拭き取り、乾いた場所で本製品を保管してください。
- ・乾かすために高温のドライヤーを使用したり、暖房器具の前に置いたりしないでください。
- ・充電する場合は、本製品や手が濡れていないことを確認してください。
- ・付属の充電クレードル、充電用USBケーブルは防滴および防水仕様ではありません。

Bluetooth 2.4GHz 電波について

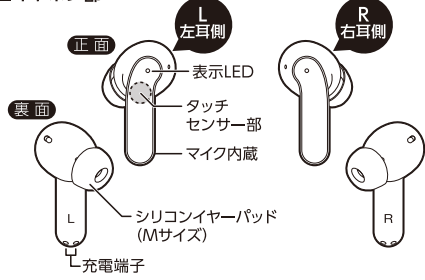
本製品は2.4GHz帯の電波を利用しています。電波の特性上、「信号機など交通信号システムが多く設置されている場所」・「Wi-Fiアンテナが多く設置されている場所」・「満員電車内など同じ2.4GHz帯電波機器の使用密度が高い場所」での使用環境では通信が途切れたりする場合がありますが製品不良ではありません。

Bluetooth (Class2) 最大通信距離

本製品の通信距離は、見通し距離で最大約10mまで通信が可能です。※使用状況などにより通信距離が短くなる場合があります。

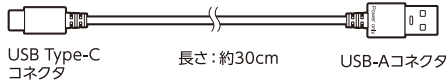
1. 製品構成と各部の名称

■イヤホン部



※本製品のマイクはR側/L側イヤホンにそれぞれに搭載されていますが、ご使用時にはスマートフォンと直接接続した親機側イヤホンのマイクのみが機能します。

■充電用USBケーブル (充電クレードル用)

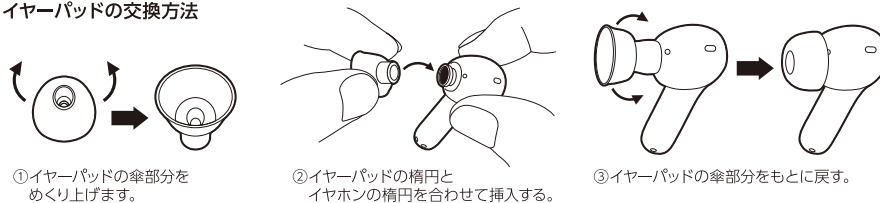


■イヤークラッド

本製品にはS・M・Lの3サイズのシリコンイヤークラッドが付属されています。(出荷時はMサイズを装着)Mサイズが耳穴にフィットしない場合は、Sサイズ、Lサイズに交換してください。



■イヤークラッドの交換方法



ご注意 ※装着感向上のためイヤークラッドの取付部がきつめに設計されています。取り付け時は双方をしっかりと保持し挿入してください。

2. 充電方法

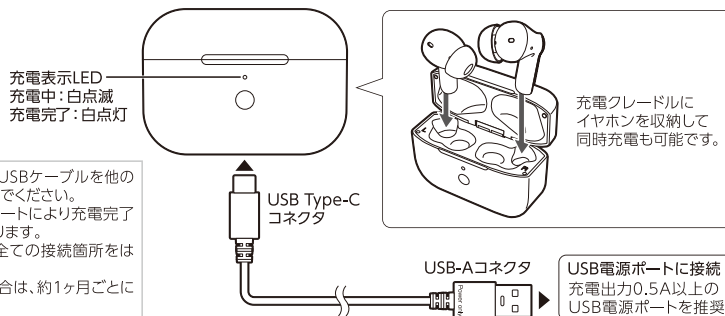
ご使用前に必ず充電してください ！ 充電する前に水分や異物の付着が無いことを確認してください。

本製品および充電クレードル、充電用USBケーブルに水分や異物の付着がある状態で充電すると、故障や感電の原因となります。必ず、充電前に水分や異物の付着が無いことを確認し充電をおこなってください。

！コネクタは精密パーツです。着脱の際はコネクタを持って接続部をご確認のうえ、慎重におこなってください。

充電クレードルの充電方法

- 充電クレードル底面のUSB Type-C充電ポートに付属の充電用USBケーブルを差し込み、USB電源ポートに接続してください。
 - 充電クレードルの充電中は、充電表示LEDが白点滅します。充電完了時には充電表示LEDが白点灯します。
- ※充電クレードルを満充電に要する時間は空の電池状態から約2時間です。



注意
 ※本製品付属の充電用USBケーブルを他のUSB機器に接続しないでください。
 ※接続するUSB電源ポートにより充電完了にならない場合があります。
 ※充電完了後は必ず、全ての接続箇所をはずしてください。
 ※長期間使用しない場合は、約1ヶ月ごとに充電してください。

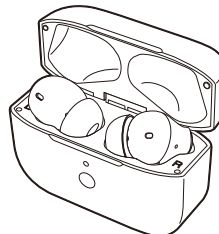
イヤホンの充電方法

- 充電済みの充電クレードルにイヤホンを取るとイヤホンの表示LEDが白点灯し、充電が開始されます。
 - イヤホンの充電が完了すると表示LEDが消灯します。
- ※イヤホンに満充電に要する時間は空の電池状態から約2時間です。

！充電クレードルの電池残量がなくなると、自動的にイヤホンの電源がONになりますのでご注意ください。

- イヤホン電源ONの時に、接続可能スマートフォンが近くにある場合はイヤホンはスマートフォンと接続されます。
- イヤホン電源ONの時に、接続可能スマートフォンが近くに無い場合、イヤホンは約5分間ペアリングモードになり、その後イヤホンの電源は自動的にOFFになります。

充電クレードルの電池残量がなくなった場合は、充電クレードルにイヤホンを取ると同時に充電し、イヤホンの電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの誤接続を避けるためイヤホンを使用しない時には、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。



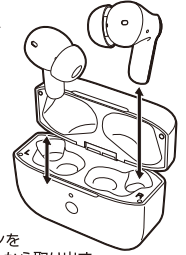
3. スマートフォンとのペアリング・接続

初めてご使用の際には、スマートフォンとステレオイヤホンとを接続相手として登録(ペアリング)する必要があります。

①スマートフォンと充電済みの充電クレードルに収納したイヤホンを1m以内に置き、途中で障害になる物がないことをご確認ください。スマートフォンのBluetooth設定をONにしてください。

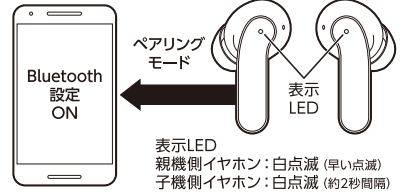
②充電クレードルのフタを開き、左右のイヤホンを取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになります。

※本製品のイヤホンは、先に電源が入った側のイヤホンが親機に自動設定されます。



左右のイヤホン
充電クレードルから取り出す。

③イヤホンがペアリングモードになると、親機側に設定されたイヤホンの表示LEDは早い白点滅し、子機側に設定されたイヤホンの表示LEDは約2秒間隔で白点滅します。



イヤホン電源ON後、下記ボイスアナウンスが流れます。

- 左右イヤホンから、「電源が入りました」の音声。
- イヤホン同士の接続後、左右イヤホンから、「ペアリングしています」の音声。

注意
 ※一度ペアリングしたスマートフォンがBluetooth設定ONの状態である場合、イヤホンがそのスマートフォンとの接続を優先するためペアリングモードにはなりません。新たな機器とペアリングモードになる際は既にペアリング済み機器のBluetooth設定をOFFにしてください。
 ※約5分以内にペアリングが完了できない場合、ペアリングモードが自動で解除され、本製品の電源は自動的にOFFになります。

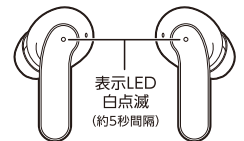
④スマートフォンのBluetooth設定方法に従い、ペアリングをおこないます。スマートフォンが本製品を認識すると、画面の接続機器リストに本製品の型番名「SOUND LIBERTA PRO」が表示されるので、スマートフォンを操作し選択してください。



SOUND LIBERTA PRO
選択→決定

注意
 ※スマートフォンにより設定方法が異なりますので、必ずスマートフォンの取扱説明書をお読みいただき、ご不明な点は各通信会社までお問い合わせください。

⑤イヤホンとスマートフォンの接続が完了し、通信可能状態になるとイヤホンの表示LEDは約5秒間隔で白点滅します。



スマートフォンと接続時、下記ボイスアナウンスが流れます。
 左右イヤホンから、「スマートフォンと接続しました」の音声。
 ※スマートフォン以外の機器と接続した場合も「スマートフォンと接続しました」の音声は流れます。

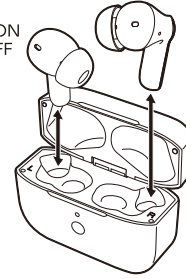
一度ペアリングをおこなえば、次に使用する際に再度ペアリングをおこなう必要はありません。ただし、「接続」については、自動で接続までおこなう機種と、スマートフォンによる接続操作が必要な機種があります。スマートフォンによる接続操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

注意
 ※以下の場合は再度ペアリングが必要になります。
 ・本製品は最大8台までのペアリング情報を登録できます。9台目のスマートフォンとペアリングをおこなうと1台目にペアリングをおこなったスマートフォンのペアリング情報が削除されます。ペアリング情報が削除されたスマートフォンを接続する場合は、新たにペアリング操作をおこなってください。
 ・スマートフォンから本製品とのペアリング情報が削除された場合。
 ・ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して、再度ペアリングの操作をおこなってください。

4. 電源の入れ方、切り方 ※下記の操作は充電済みの充電クレードルでおこなってください。

- ①充電クレードルのフタを開き、イヤホンを取り出してください。
イヤホンの電源が自動的にONになります。
- ②イヤホンの電源を切る場合は、充電済みの充電クレードルにイヤホンを収納してください。イヤホンの電源がOFFになります。

取り出して→電源ON
収納して→電源OFF



❗ 充電クレードルの電池残量が無い場合は・・・

電池残量が無い状態の充電クレードルからイヤホンを出し入れしても、イヤホンの電源は自動でON/OFFしません。充電クレードルの電池が無い場合は、充電クレードルを充電してください。

ご注意

※ご購入後、初めて電源をONにした場合やBluetooth設定ON状態のペアリング済みスマートフォンが近くに無い場合などには、ステレオイヤホンは自動的にペアリングモードになります。

❗ イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなった場合は・・・

※イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなると、イヤホンの電源が自動的にONになりますのでご注意ください。
※充電クレードルの電池残量が無くなった場合は、充電クレードルにイヤホンを収納して同時に充電し、イヤホンの電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの誤接続を避けるためイヤホンを使用しない時には、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

イヤホン単体での電源の入れ方

左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ約3秒間ロングタッチすると電源がONになります。

イヤホン電源ON時、下記ボイスアナウンスが流れます。

- ①左右イヤホンから、「電源が入りました」の音声。
- ②接続可能なスマートフォンが無い場合、左右イヤホンから、「ペアリングしています」の音声。接続可能なスマートフォンがある場合、左右イヤホンから、「スマートフォンと接続しました」の音声。



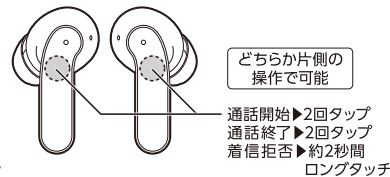
ご注意

※イヤホン単体操作で電源OFFにすることはできません。充電クレードルにイヤホン収納して電源をOFFにしてください。
充電クレードルの電池残量が無くイヤホンの電源がOFFにできない場合は、スマートフォンのBluetooth機能をOFFにしてイヤホンとの接続を切断してください。イヤホンがペアリングモードになり約5分後に電源がOFFになります。

5. 電話操作

電話を受ける

- ①スマートフォンに着信したら、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。着信通話が開始されます。
- ②通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。



着信拒否

着信中に、タッチセンサー部を約2秒間ロングタッチすると着信を拒否ができます。

ご注意

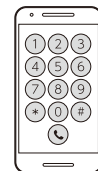
※ステレオイヤホンから聞こえる着信音は、スマートフォンに設定した音とは異なる場合があります。
※スマートフォン本体から着信音が鳴動するように設定している場合、ステレオイヤホンからは着信音が聞こえない場合があります。
※通話状態になるまで、少しタイムラグが発生する場合があります。
※スマートフォンと直接接続した親機側イヤホンのマイクのみが機能します。

電話をかける

- ①電話をかけるには、スマートフォン側で発信操作をおこなってください。
- ②通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。

ご注意

※スマートフォンにより、自動的に本製品での通話が開始できない場合があります。その場合は発信後、スマートフォンを操作して音声通話を本製品に切り替える必要があります。スマートフォンの操作方法につきましては、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
※本製品の操作でスマートフォンとの音声通話の切り替えはできません。



発信操作はスマートフォンでおこなう

6. 音楽再生/オーディオビジュアル再生操作

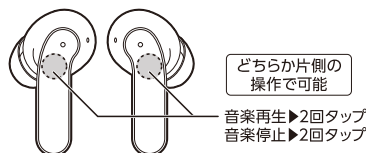
スマートフォンが機器操作機能(AVRCP)に対応している場合は、ステレオイヤホンでスマートフォンの音楽再生(基本操作)ができます。また、本製品は、SCMS-T方式で保護されたワンセグ/フルセグ音声にも対応しています。

ご注意

※スマートフォンがA2DP・AVRCPプロファイルに対応していない場合はご使用できません。
※スマートフォンによっては、全ての操作に対応しない場合があります。
※スマートフォンによっては、通話終了後自動で音楽再生に戻らない場合があります。その場合は、スマートフォンで音楽再生をおこなってください。

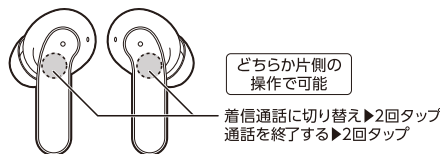
音楽の再生/停止

- ①イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が再生されます。
- ②再度、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が停止されます。



音楽再生中に着信通話をする

- ①スマートフォンに着信があると、音楽が一時停止し、イヤホンから着信音が聞こえます。
- ②イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると、通話状態になります。
- ③通話を終了するにはイヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。通話終了後、音楽再生に戻ります。

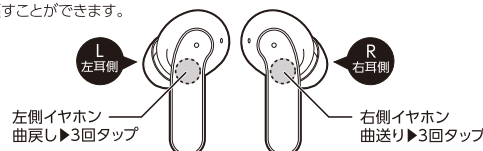


音楽の曲送り/曲戻し

- ①音楽再生中に右側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、次曲に曲送りされます。
※ワンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一つ送ることができます。
- ②音楽再生中に左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、曲頭に曲戻しされます。
※ワンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一つ戻すことができます。

ご注意

※スマートフォンやアプリによっては、本機能に対応していない場合や対応しているも相性により動作が不安定な場合があります。
※タッチセンサー部を6回連続してタップをおこなうと初期化機能が働きますのでご注意ください。



7. アクティブノイズキャンセリング機能/アンビエントモード(外音取り込み)機能

■アクティブノイズキャンセリング機能とは

周囲の雑音をイヤホンに内蔵されているマイクで拾い解析し、逆位相の音を重ねることで雑音を打ち消します。
 ※アクティブノイズキャンセリング機能は周囲の雑音を軽減するものであり、完全に消すことはできません。本製品のアクティブノイズキャンセリングは、エアコンのファンや車などの走行音を最大約90%低減します。

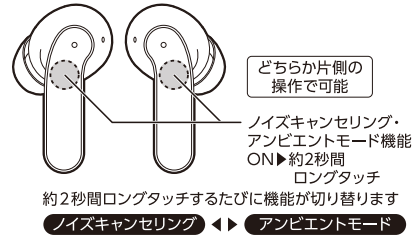
■アンビエントモード機能とは

イヤホンに内蔵されているマイクで、周囲の音を取り入れる機能です。周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。
 ※アンビエントモード機能は周囲の音を取り入れる機能ですが、すべての音を聞き取れるようにする機能ではありません。周囲の状況、再生中の音の種類や音量によって、周囲の音が聞き取れない場合もあります。

- イヤホンを電源ONにした時の初期設定はアクティブノイズキャンセリング機能とアンビエントモード機能は、OFFの状態です。
- イヤホンのタッチセンサー部を約2秒間ロングタッチすると、アクティブノイズキャンセリング機能やアンビエントモード機能をONにすることができます。
- イヤホンのタッチセンサー部を約2秒間ロングタッチするたびに、アクティブノイズキャンセリング機能とアンビエントモード機能を切り替えることができます。

機能切り替え時には、下記ボイスアナウンスが流れます。

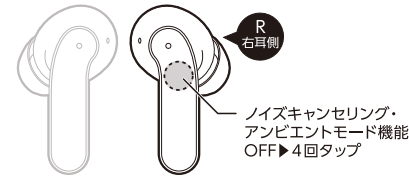
- ・アクティブノイズキャンセリング機能ON[ノイズキャンセリング]の音声。
- ・アンビエントモード機能ON[アンビエントモード]の音声。



- ノイズキャンセリング機能 / アンビエントモード機能をOFFにするには、右側イヤホンのタッチセンサー部を4回タップしてください。または、充電クレードルにイヤホンを取納し、電源をOFFにしてから再度イヤホンの電源をONにするとノイズキャンセリング機能 / アンビエントモード機能は初期設定のOFF状態になります。

ノイズキャンセリング機能、アンビエントモード機能OFF時には、下記ボイスアナウンスが流れます。

- ・機能OFF[ノイズキャンセリング・アンビエントモードオフ]の音声。



ご注意 ※タッチセンサー部を6回連続してタップをおこなうと初期化機能が働きますのでご注意ください。

8. ゲームモード機能

本製品には、ゲームプレイ時などに音の遅延を低減するゲームモード機能が搭載されています。ゲームモード機能をONにするには、左側イヤホンのタッチセンサー部を4回タップしてください。再度、左側イヤホンのタッチセンサー部を4回タップするとゲームモード機能がOFFになります。または、イヤホンの電源を一度OFFにしてから再度イヤホンの電源をONにするとゲームモード機能は初期設定のOFF状態になります。

ゲームモード時には、下記ボイスアナウンスが流れます。

- ・ゲームモード機能ON[ゲームモード]の音声。
- ・ゲームモード機能OFF[ゲームモードオフ]の音声。



- ※ゲームモードは音の遅延を軽減するものであり、完全に遅延を解消することはできません。
- ※イヤホンを電源をONにした時の初期設定はゲームモードOFFの状態です。
- ※タッチセンサー部を6回連続してタップをおこなうと初期化機能が働きますのでご注意ください。

9. その他の機能

バッテリーLOW警告

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下するとボイスアナウンスでお知らせします。バッテリーLOW警告が出た場合は必ず、充電をおこなってください。

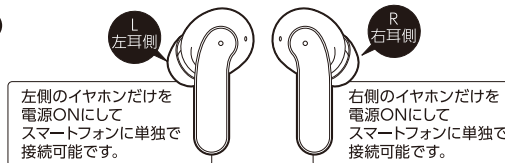
バッテリーLOW警告時には、下記ボイスアナウンスが流れます。

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側から「電池残量が低下しました。充電してください」の音声。その後、電池が無くなると「電源が切れます」と音声流れイヤホンの電源がOFFになります。

片側のイヤホンだけで使用できます

充電クレードルから片側のイヤホンだけを取り出して使用することができます。どちら側のイヤホンでも通話が可能です。

- ※片側イヤホン使用時には、使用するイヤホン側に設定された機能のみの操作に限定されます。
- ※片側のイヤホンだけでスマートフォンに接続した時の音声はモノラル音声になります。



10. 製品仕様

■Bluetoothイヤホン部仕様

| | | | |
|----------|-------------------|---------|------------------------|
| 型式名 | SOUND LIBERTA PRO | 充電時間※ | 約2時間 |
| 通信方式 | Bluetooth 5.2 | 連続通話時間※ | 最大約3時間 |
| 最大通信距離 | 見通し距離約10m(Class2) | 待ち受け時間※ | 最大約60時間 |
| 対応プロファイル | HFP/A2DP/AVRCP | 音楽再生時間※ | 最大約5時間(ノイズキャンセリングOFF) |
| 対応コーデック | SBC/AAC | | 最大約4.5時間(ノイズキャンセリングON) |
| ペアリング | 最大ペアリング登録8台 | サイズ(片側) | 約W21.5×H34×D24mm |
| 認証コード | 0000(ゼロ4つ) | 重量(片側) | 約4.5g |
| 内蔵バッテリー | リチウムイオンポリマー電池 | 材質 | PC+ABS他 |

※使用状況などにより異なります

■充電クレードル部仕様

| | | | |
|---------|---------------|-----------|----------------|
| 内蔵バッテリー | リチウムイオンポリマー電池 | イヤホン充電回数※ | 最大約2回 |
| 定格電圧 | 3.7V | サイズ | 約W61×H44×D25mm |
| 定格容量 | 300mAh | 重量 | 約33g |
| 電力量 | 1.11Wh | 材質 | ABS他 |
| 充電時間※ | 約2時間 | | |

※使用状況などにより異なります

■充電用USBケーブル仕様

| | | | |
|--------|----------------------|----|------|
| USB端子 | USB Aコネクタ/USB Type-C | 重量 | 約12g |
| ケーブル長 | 約30cm | 材質 | PVC他 |
| ケーブル定格 | DC5V/2.1A | | |

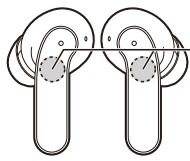
11. イヤホンの初期化(リセット)

ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して工場出荷状態に戻し、再度ペアリングの操作をおこなってください。

①本製品の初期化操作前にスマートフォン側の接続機器リスト内の型式名[SOUND LIBERTA PRO]は、スマートフォンを操作し、必ず削除してください。



②イヤホンの電源を入れて、左右イヤホンどちらか片側のタッチセンサー部を素早く6回タップしてください。ステレオイヤホンが工場出荷時の状態に初期化されます。初期化操作後イヤホンの電源はOFFになります。



どちらか片側の操作で可能
タッチセンサー部
初期化▶素早く6回タップ
表示LED▶白点灯後、電源OFF

③イヤホンを充電済みの充電クレードルに収納し、【3.スマートフォンとのペアリング・接続】の手順に従い、再度スマートフォンとのペアリング・接続操作をおこなってください。
※初期化後、ペアリング・接続操作をおこなう際には必ず、左右のイヤホンを充電クレードルから取り出してください。

イヤホン初期化操作時、下記ボイスアナウンスが流れます。

- ①イヤホンから「初期化します」の音声。
- ②イヤホンから「電源が切れます」の音声。

12. 操作一覧

| 動作・状態 | 操作方法 | 表示 LED | ボイスアナウンス電子音 |
|--------------------------------|---|--|--|
| イヤホンの充電 | イヤホンを充電クレードルに収納 | 充電中：白点灯 / 充電完了：消灯 | — |
| 充電クレードルの充電 | 充電クレードルに付属の充電用 USB ケーブルを接続 | クレードル充電表示 LED が 充電中：白点滅 / 充電完了：白点灯 | — |
| 電源 ON | 充電クレードルからイヤホンを取り出す | スマートフォンと非接続時 親機→早い白点滅 子機→白点滅 (約 2 秒間隔) スマートフォンと接続時 白点滅 (約 5 秒間隔) | 「電源が入りました」 |
| | イヤホンのタッチセンサー部を約 3 秒間タッチ | | |
| 電源 OFF | 充電クレードルにイヤホンを収納 | 充電中：白点灯 / 充電完了：消灯 | 「電源が切れます」 |
| ペアリング | 初めてペアリングするスマートフォンの近く(約 1 m 以内)でイヤホンの電源をONにしてスマートフォンを操作する。 | 親機→早い白点滅 子機→白点滅 (約 2 秒間隔) | 「電源が入りました」→「ペアリングしています」 スマートフォンと接続時 「スマートフォンと接続しました」 |
| 待ち受け状態 (スマートフォンと接続時) | — | 白点滅 (約 5 秒間隔) | — |
| スマートフォンとの接続が切断した場合 | — | 親機→早い白点滅 子機→白点滅 (約 2 秒間隔) | 「接続が切れました」のボイスアナウンス後ペアリングモード。 ※ペアリングモード約 5 分経過後電源 OFF |
| 再生 / 停止 | イヤホンのタッチセンサー部を 2 回タップ | — | — |
| 曲送り | 右側イヤホンのタッチセンサー部を 3 回タップ | — | — |
| 曲戻し | 左側イヤホンのタッチセンサー部を 3 回タップ | — | — |
| ノイズキャンセル、アンビエントモード機能 ON / 切り替え | イヤホンのタッチセンサー部を約 2 秒間タッチ | — | 「ノイズキャンセリング」 「アンビエントモード」 |
| ノイズキャンセル、アンビエントモード機能 OFF | 右側イヤホンのタッチセンサー部を約 4 回タップ | — | 「ノイズキャンセリング・アンビエントモードオフ」 |
| ゲームモード機能 ON/OFF | 左側イヤホンのタッチセンサー部を約 4 回タップ | — | 「ゲームモード」 「ゲームモードオフ」 |
| 通話 | 着信時イヤホンのタッチセンサー部を 2 回タップ | — | 着信音 |
| 終話 | イヤホンのタッチセンサー部を 2 回タップ | — | — |
| 着信拒否 | 着信時イヤホンのタッチセンサー部を約 2 秒間タッチ | — | — |
| バッテリー LOW 警告 | — | — | 「電池残量が低下しました、充電してください」 |
| 初期化 | イヤホンのタッチセンサー部を素早く 6 回タップ | 初期化時、白点灯後電源 OFF | 「初期化します」 「電源が切れます」 |

ボイスアナウンス音声 VOICEVOX: 波音リツ

13. 保証規定

保証期間 / ご購入日より **6ヶ月**

必ず、購入明細書を書書およびパッケージと一緒に保管してください。万一、修理の際は、現品に購入明細書と本書およびパッケージを添え、記載の当社住所までお送りください。なお、修理後の保証期間の延長はいたしません。

●保証期間内に、本書およびパッケージ記載の注意事項をお守りいただいた正しい使用状況で、万一故障した場合には本製品をお預かり後、無償で修理、または交換します。また、本製品の不具合に関連した、本製品以外の損害・費用・データ損失に関しましては、一切の補償をいたしかねます。また、代替品の先送りなどのご対応はいたしかねます。

※次の場合は保証対象外となります。

- 1) 本製品(修理対象品)と購入明細書、本書およびパッケージの提示がおこなわれない場合。
- 2) 本書およびパッケージ記載の注意事項をお守りいただけていない場合。
- 3) 個人売買や正規販売店以外で、ご購入した場合。
- 4) 地震、火災、落雷、台風などの災害により故障した場合。
- 5) ご購入後、落下や衝撃などの事象により故障した場合や水没、汚れにより故障した場合。
- 6) 健康被害が生じた場合。
- 7) 本製品や付属品を紛失・破損した場合。
- 8) 本製品の仕様上発生する傷、印刷の歪み、かすれなどの場合。
- 9) 日常使用によって生じた摩耗、傷、汚れなどの場合。

●本製品のご使用が事故や法令違反の原因になりましたも、一切の補償をいたしかねます。

●お預かりした製品が、保証対象外と認められる場合、修理費用等、実費負担をご請求させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

●本保証書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

●ご返送時にご記入いただいたお客様の個人情報は、商品の修理に関するご連絡、修理・交換の対応以外の目的に使用いたしません。なお、上記利用目的の実施に必要な範囲で、業務委託先に預託する場合がありますのでご了承ください。

製造・発売元 **多摩電子工業株式会社**

〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木2-6-18
TEL 044-543-8884 受付時間:平日9:00~18:00